





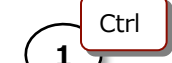
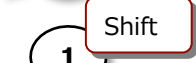

～電気自動プロット編～

目次

自動プロットを利用して器具や配線、寸法などを作画してみましょう

1. 開く
2. 部屋
3. 自動プロット
4. プロパティ
5. ハンドル（寸法の変更）
6. ルート・部材移動
7. 名前を付けて保存

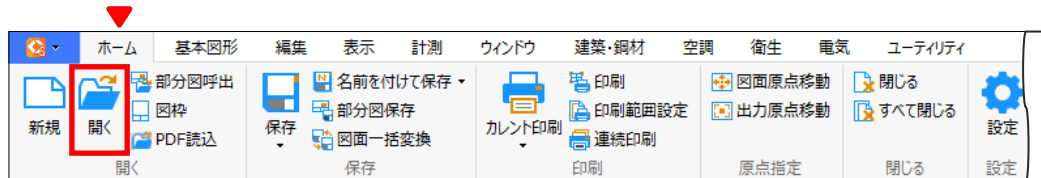
マウスの使い方

- | | |
|---|-------------------------------------|
|  | …指示位置をクリック（左クリック）します。 |
|  | …指示位置をマウス右ボタンでクリックします。 |
|  | …指示位置をダブルクリック（左2回クリック）します。 |
|  | …マウスを表示位置に近づけます。 |
|  | … [Ctrl] キーを押しながらクリック（左クリック）します。 |
|  | … [Shift] キーを押しながらクリック（左クリック）します。 |
| 
右ドラッグマウス移動 | …マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。 |

1. 図面を開きましょう

Operation

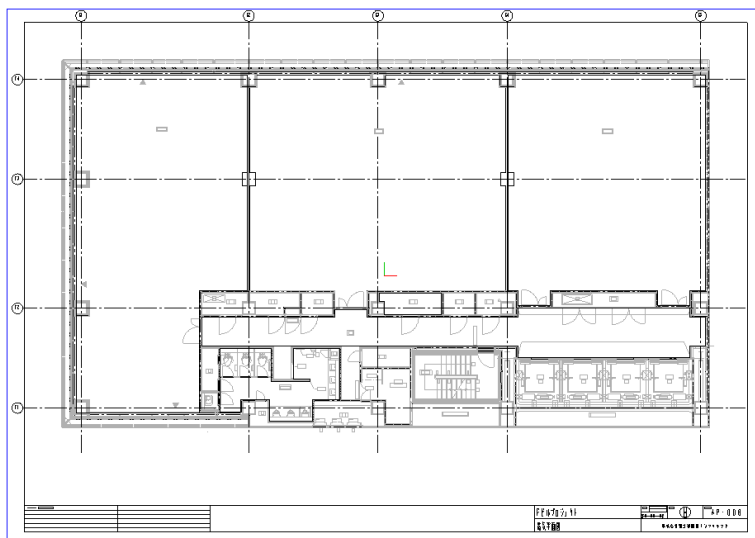
開く



使用する図面は
Smart_70_E07_電気自動プ
ロット開始.ZDW

① 図面を選択します

② 開く



2.

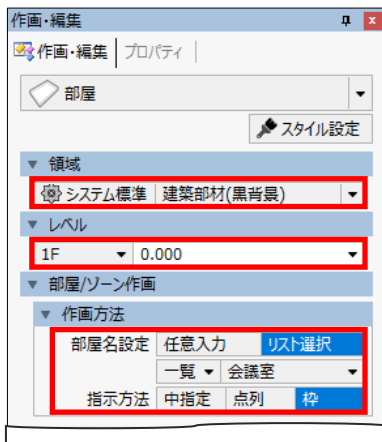
部屋情報を作画してみましょう

Operation

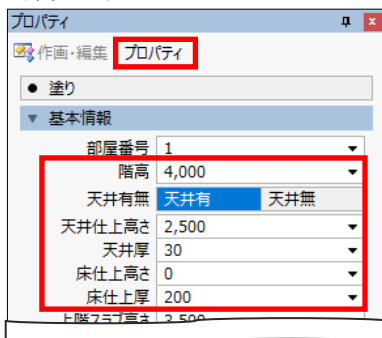
部屋



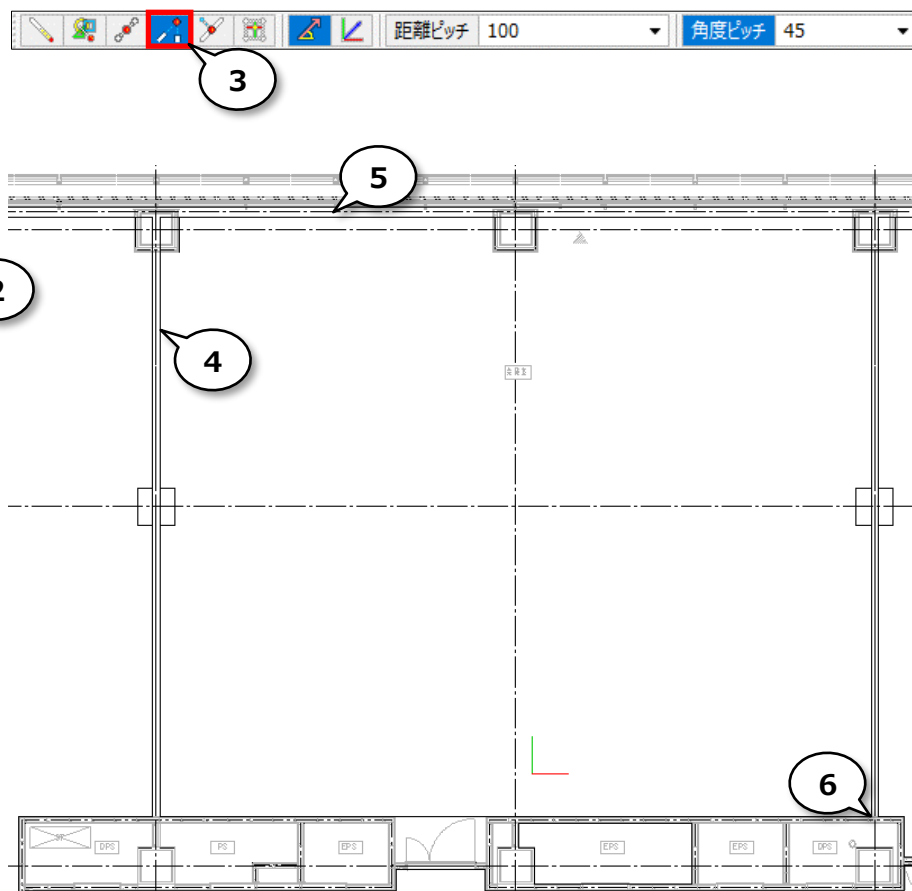
- ① 自動プロットに使用する部屋情報を設定します
*プリセット：建築部材(黒背景)
*レベル：0
*部屋名設定：リスト選択、一覧、会議室
*指示方法：枠



- ② プロパティを設定します
*階高：4000
*天井有無：天井有
*天井仕上高さ：2500
*天井厚：30
*床仕上高さ：0
*床仕上厚：200



- ③ 「仮想交点」をONにします
- ④ 1つ目のオブジェクトを指定してください
*通り芯X2の壁をクリック
- ⑤ 2つ目のオブジェクトを指定してください
*通り芯Y4上側の壁をクリック
- ⑥ 枠終点を指示してください
*壁の交点をクリック

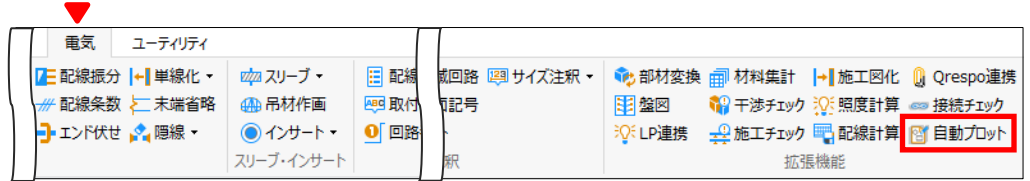


3.

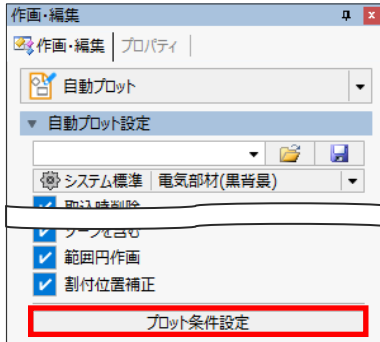
自動プロットで器具や配線を作画してみましょう

Operation

自動プロット



- ① プロット条件を設定します
*「プロット条件設定」をクリック



- ② プロット条件設定を変更します
*会議室、事務室1の行をクリック



- ③ 「行複写」をクリックします

- ④ 部屋名制限を変更します
*会議室、事務室1の部屋名を「会議室」に変更
*行複写した会議室、事務室1の部屋名を「事務室1」に変更



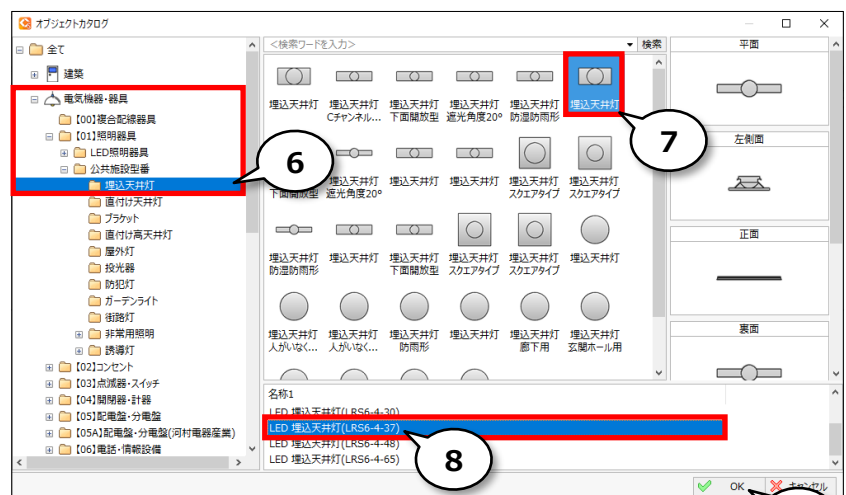
- ⑤ 事務室1で使用する部材を選択します
*「選択」をクリック

- ⑥ 器具を選択します
*「電気機器・器具」-「【01】照明器具」-「公共施設型番」-「埋込天井灯」

- ⑦ 器具を選択します
*埋込天井灯

- ⑧ 名称1を選択します
*LED埋込天井灯 (LRS6-4-37)

- ⑨ OK



① OK

プロット条件設定

C:\Program Files\CADEWA\Smart_V5\SYSCFG\AC\Mst\自動プロット条件.txt

全削除 上に移動 下に移動 行追加 行複写 行削除

部材名		m ² /個	最大部材数/部屋	部屋名制限 空白:全部屋名対象
接地ダブルコンセント 2P15Ax2E付	選択	10.00	4	
天井埋込スピーカ	選択	50.00	0	
LED 埋込天井灯(LRS3-2-30)	選択	10.00	0	廊下
LED 埋込天井灯(LRS15-6-58)	選択	10.00	0	会議室
LED 埋込天井灯(LRS3-4-37)	選択	10.00	0	事務室2
電灯分電盤(壁掛・両開)	選択	10.00	1	EPS
LED 埋込天井灯(LRS6-4-37)	選択	10.00	0	事務室1

OK キャンセル

1

補足
説明

自動プロット条件設定について

- 「m²/個」「最大部材数/部屋」

m²/個：設定したm²数に対して1つの部材を、部屋情報を元に計算して配置します。

最大部材数/部屋：「0」以外を入力した場合、設定数以上は配置されません。

上限を設定しない場合は「0」を入力してください。

プロット条件設定

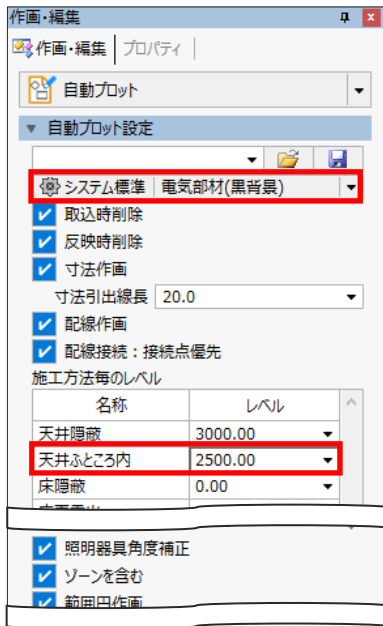
C:\Program Files\CADEWA\Smart_V5\SYSCFG\AC\MST\Sample.txt

全削除 上に移動 下に移動 行追加 行複写 行削除

部材名		m ² /個	最大部材数/部屋	部屋名制限 空白:全部屋名対象
接地ダブルコンセント 2P15Ax2E付	選択	10.00	4	
天井埋込スピーカ	選択	50.00	0	
LED 埋込天井灯(LRS3-2-30)	選択	10.00	0	廊下
LED 埋込天井灯(LRS15-6-58)	選択	10.00	0	会議室, 事務室1
LED 埋込天井灯(LRS3-4-37)	選択	10.00	0	事務室2
電灯分電盤(壁掛・両開)	選択	10.00	1	EPS
LED 埋込天井灯(LRS15-6-58)	選択	10.00	0	会議室, 事務室1

OK キャンセル

- ① 自動プロット作画設定をします
 *プリセット：電気部材（黒背景）
 *天井ふところ内：2500



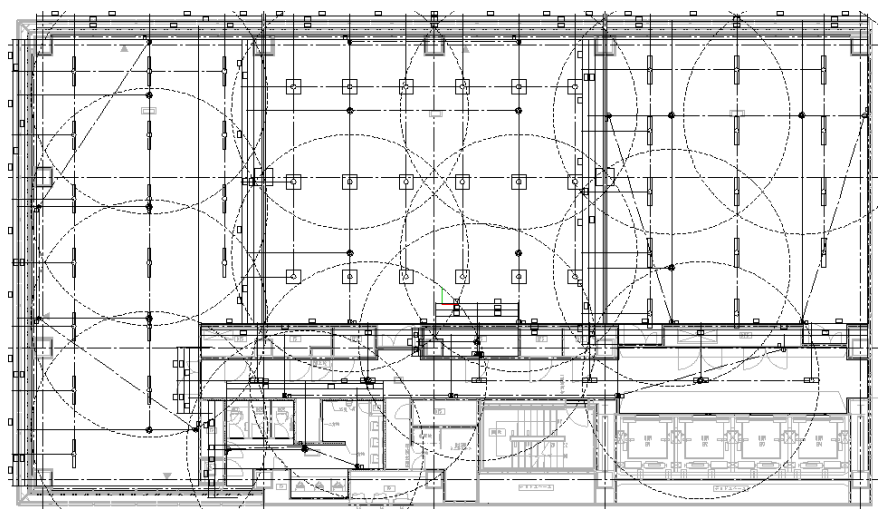
1

3右

右ドラッグマウス移動

右ドラッグ移動により、
 選択を完了します。
 [Enter]キーまたは、
 [OK]ボタンクリックでも
 確定します。

- ② 「全選択」ボタンをクリックします
 ③ 右 選択完了
 ④ 「図面に反映」をクリックします



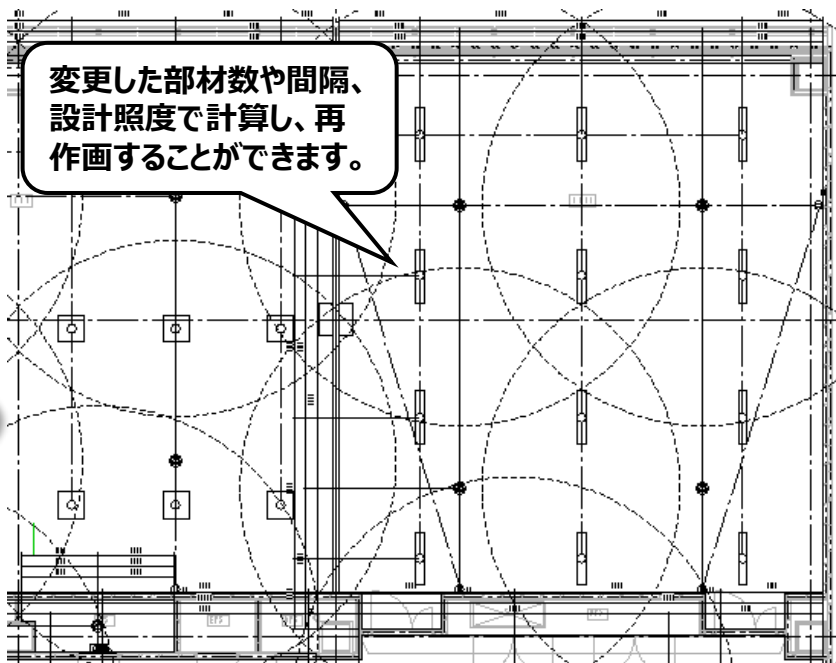
自動プロットで配置した数を変更します。

① 部材数を変更します

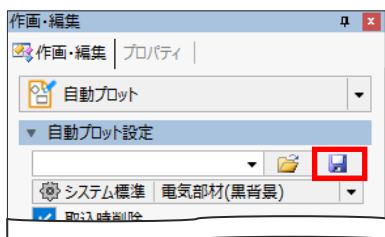
- *事務室2の天井埋込スピーカー：4
- *事務室2のLED 埋込天井灯(LRS3-4-37)：12

② 「図面に反映」をクリックします

自動プロット設定										
階名	部屋名	部屋 (m2)	天井高	部材名	部材数	横数	縦数	横間隔	縦間隔	設計照度 E (lx)
1F	事務室1	160.91	2500.0	接地ダクトコンセント 2P15Ax2E付	選択	4	1	4	4765.25	4703.12
1F	事務室1	160.91	2500.0	天井埋込スピーカー	選択	4	1	4	4765.25	4703.12
1F	事務室1	160.91	2500.0	LED 埋込天井灯(LRS6-4-37)	選択	17	3	6	3176.83	3135.41
1F	事務室2	135.11	2500.0	接地ダクトコンセント 2P15Ax2E付	選択	4	2	2	5502.50	6416.24
1F	事務室2	135.11	2500.0	天井埋込スピーカー	選択	4	2	2	5502.50	6416.24
1F	事務室2	135.11	2500.0	LED 埋込天井灯(LRS3-4-37)	選択	12	3	4	3668.33	3208.12
1F	廊下	57.25	2500.0	接地ダクトコンセント 2P15Ax2E付	選択	4	1	2	1396.26	1396.26
1F	廊下	57.25	2500.0	天井埋込スピーカー	選択	2	1	2	1396.26	1396.26
1F	廊下	57.25	2500.0	LED 埋込天井灯(LRS3-2-30)	選択	6	1	2	1396.26	1396.26
1F	男子便所	20.22	2500.0	接地ダクトコンセント 2P15Ax2E付	選択	3	3	1	2214.16	2033.73
1F	男子便所	20.22	2500.0	天井埋込スピーカー	選択	1	1	1	3321.24	2033.73
1F	EPS	3.96	2500.0	接地ダクトコンセント 2P15Ax2E付	選択	1	1	1	1730.00	603.76
1F	EPS	3.96	2500.0	天井埋込スピーカー	選択	1	1	1	1730.00	603.76
1F	EPS	3.96	2500.0	電灯分電盤(壁掛・両開)	選択	1	1	1	1730.00	603.76
1F	会議室	172.89	2500.0	接地ダクトコンセント 2P15Ax2E付	選択	4	2	2	7200.00	6003.01
1F	会議室	172.89	2500.0	天井埋込スピーカー	選択	4	2	2	7200.00	6003.01
1F	会議室	172.89	2500.0	LED 埋込天井灯(LRS15-6-58)	選択	18	6	3	2400.00	4002.01



③ 自動プロットデータをファイルへ保存します



④ ファイル名を入力します

- *自動プロット.txt

⑤ 保存

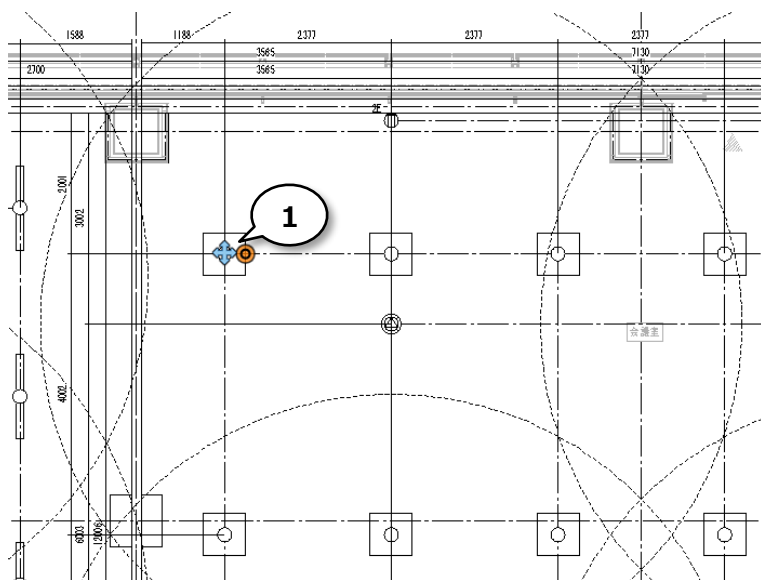
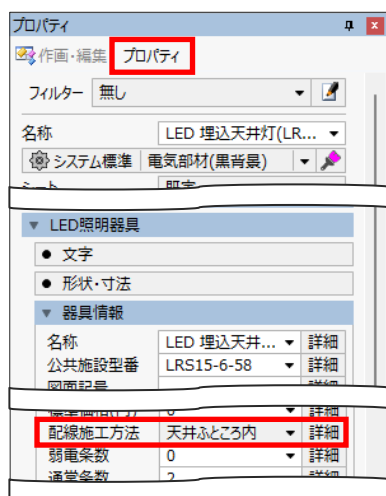


自動プロット使用時の注意

部屋情報がない場合、自動プロットは使用できません。事前に部屋情報を作画してください。

配線の施工方法について

自動プロットで作画される配線の施工方法は、各オブジェクトの器具情報に設定している配線施工方法に従います。



4.

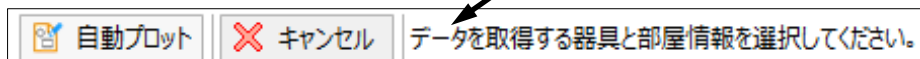
警報範囲の表示を変更しましょう

Operation

プロパティ

ガイドメッセージ上で右クリックし、全てのコマンドを終了

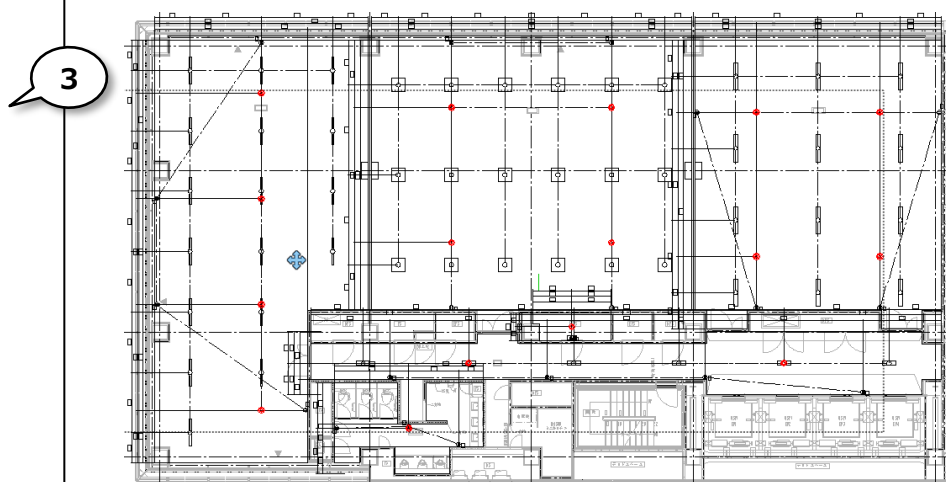
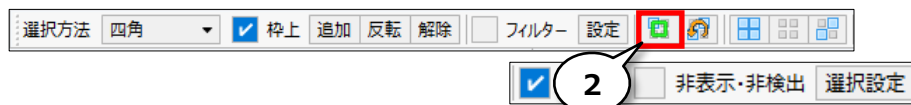
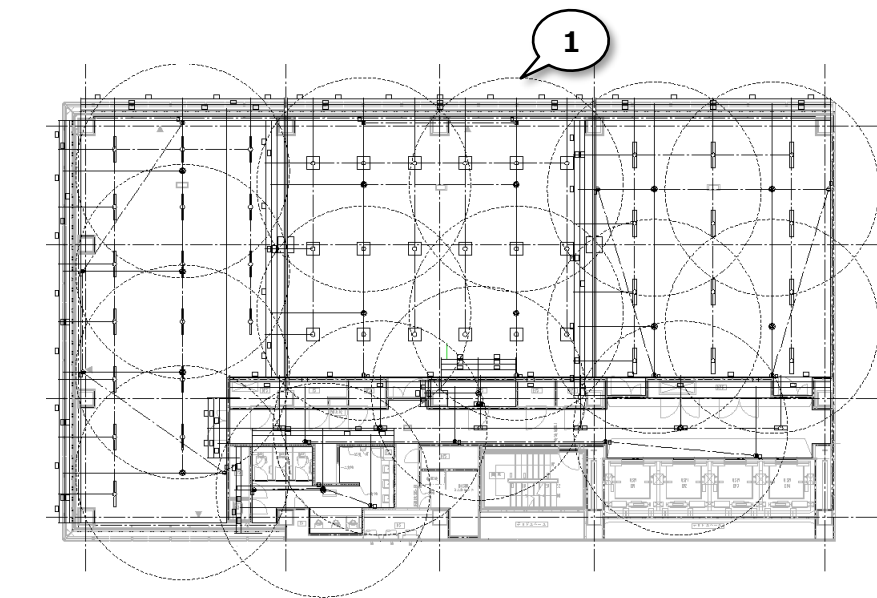
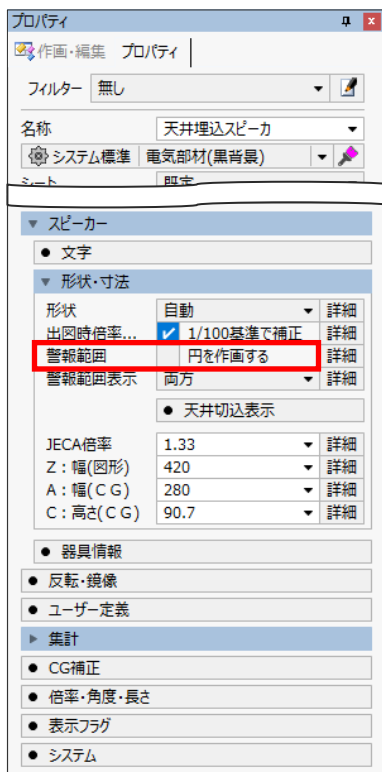
右クリック



- ① 警報範囲をクリックします
*天井埋込スピーカーの円をクリック

- ② 「同選択」ボタンをクリックします

- ③ 「警報範囲」を変更します
*警報範囲「円を作画する」をOFF



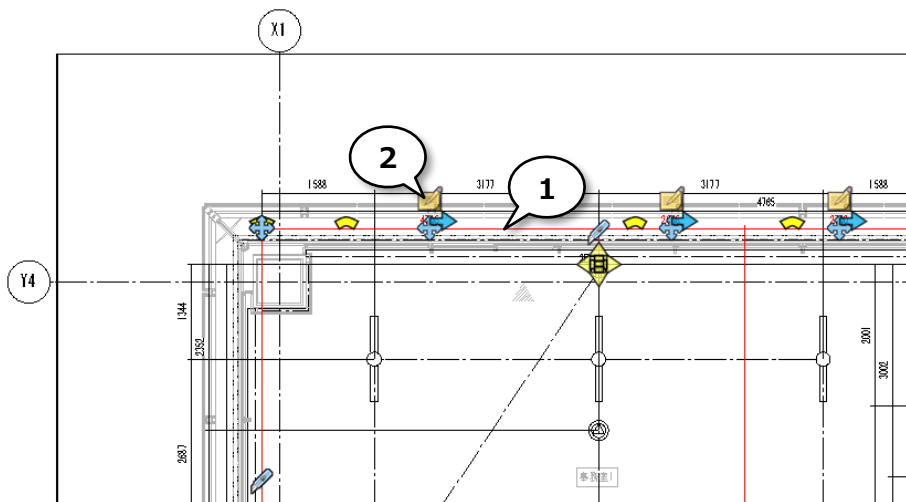
5.

寸法値を変更して器具を移動しましょう

Operation

ハンドル

- ① 寸法を選択します
*事務室1上側コンセントの寸法線をクリック
- ② 寸法値を選択をします
*ノートマークをクリック
- ③ 寸法値を設定します
*「寸法値で部材を移動する（連動情報保持）」をON
*寸法値入力（数字）：「1200」を入力
- ④ OK
- ⑤ 伸縮方向を指示します
*寸法値の伸縮側をクリック



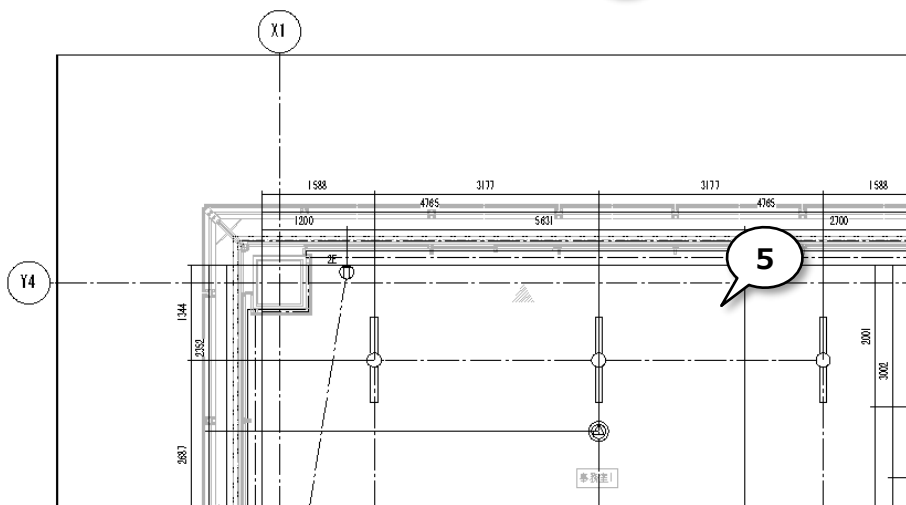
寸法値入力（部材と連動している寸法）

寸法値入力（数字） 1200 ☒ 寸法値で部材を移動する（連動情報保持）

寸法値入力（文字） 1200 ☐ 寸法値で部材を移動しない（連動情報保持）

☐ 寸法値で部材を移動しない（連動情報削除）

OK キャンセル

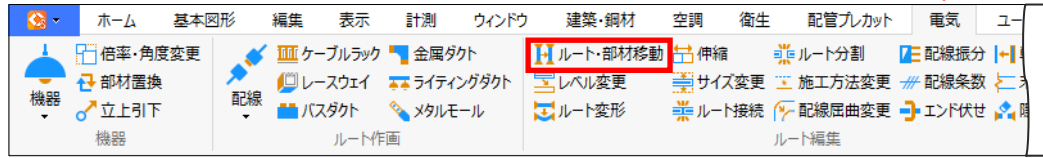


6.

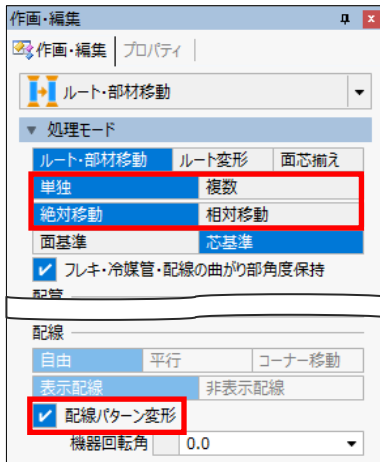
配線を移動しましょう

Operation

ルート・部材移動

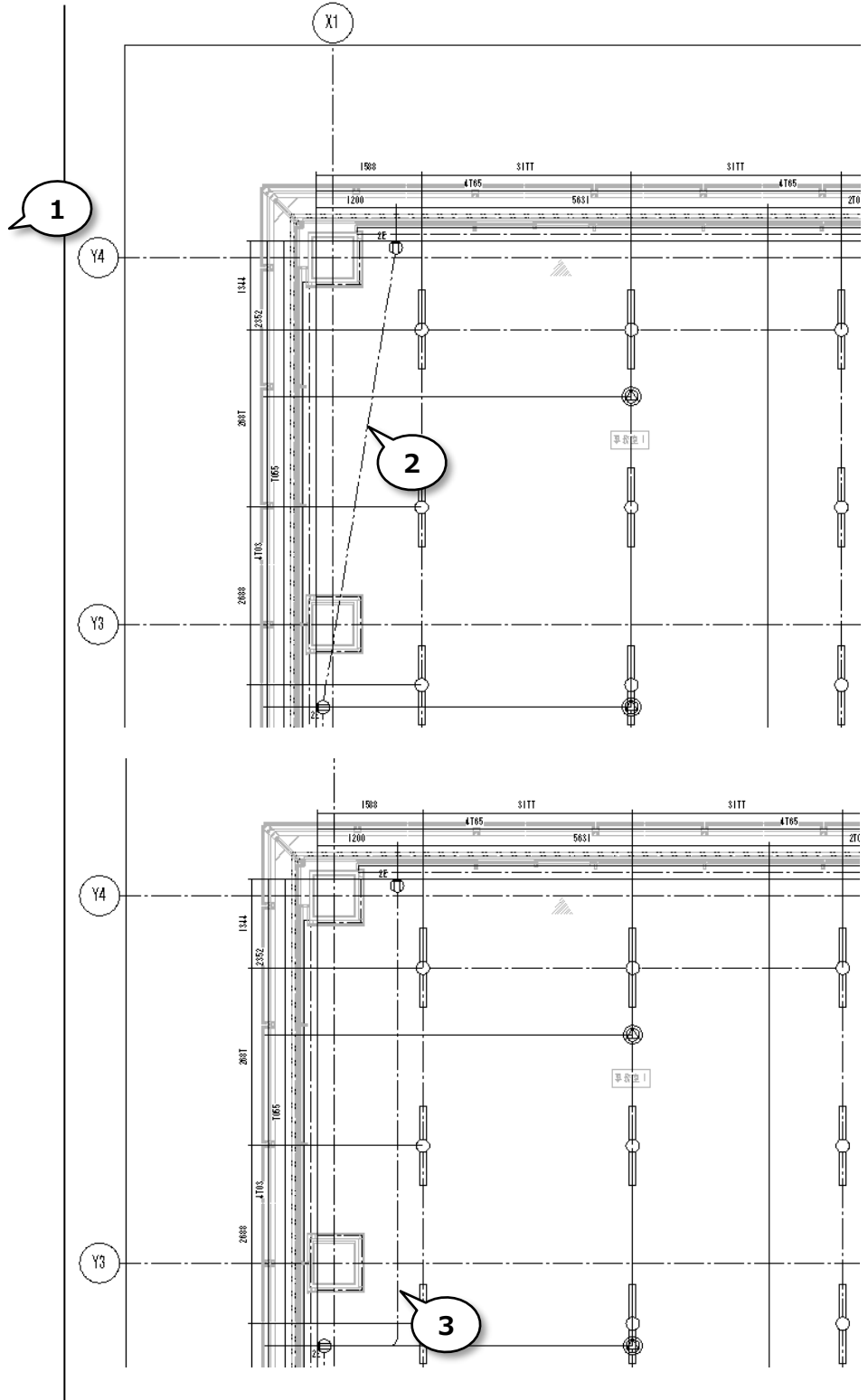


- ① ルート・部材移動方法を設定します
 - *単独
 - *絶対移動
 - *「配線パターン変形」をON



- ② 処理対象を指示してください
 - *事務室1のコンセント間の配線を指示

- ③ 変形パターンを選択してください

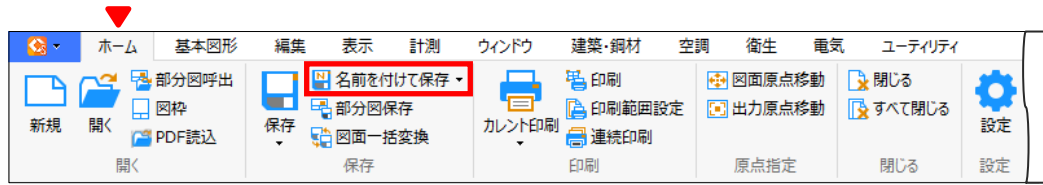


7.

図面を保存してみましょう

Operation

名前を付けて
保存



- ① ファイル名を入力します
*Smart_70_E07_電気自動プロット終了
.ZDW

- ② 保存

